



こんにちは
日本共産党

市会議員

西野さち子です

くらしの目線で市政を変える

西野・馬場議員先頭に 共産党が調査、住民激励、救援ボランティア

台風18号 豪雨 醍醐・小栗栖地域にも甚大な被害!!

醍醐・小栗栖の広範な地域で被害

9月15日夜から降り始めた台風18号による雨は、16日午前まで降り続きました。マスコミでは取り上げられませんでした。小栗栖森本町、中山田町が浸水しました。床上浸水278件、床下浸水34件(20日現在)その他にも車の浸水被害、電動車いすの被害、商品被害など甚大です。

西野市議は馬場こうへい府議やボランティアの皆さんとともに連日、現地での復興活動をするともに、被害状況の調査を行いました。



西野・馬場議員先頭に

共産党が調査、住民激励、救援ボランティア

台風18号
豪雨

醍醐・小栗栖地域にも甚大な被害!!



【写真上】河川が氾濫した小栗栖市営団地前。【写真左】病院で浸水被害の状況を聞く井上さとし参院議員(左端)と西野市議。

小栗栖地域だけでなく、春日丘中学校東の新池埋立地では、濁流が道にあふれ出し、中学校の中には土砂が流入しました。また、土砂崩れや、山から水が大量に流れ出す等、被害が出ました。

浸水被害を

井上哲参議院議員と調査

京都市内でも最も被害戸数の多い小栗栖地域の浸水被害状況を、井上参議員や地域のみなさんとともに調査をしました。頭を超える高さまでの浸水に改めて驚きました。「一階で寝ていて何か冷たいと思い目が覚めたら背中まで水が来ていて驚いた。停電していて、

一瞬何が起ったのか分からず焦った」小栗栖地域では地域医療の中心的な役割を果たしておられる医院が浸水し、カルテの保管庫となっている地下が完全に水没。レントゲンの心臓部も地下にあり水没。数千万円の被害と言われていました。調査中に何人もの患者さんが来られて、心配そうに「薬が切れるので、水につかっけない薬だけでも何とか出してもらえませんか」と訴えられる方もあり、深刻な事態を実感しました。ただ、多くの方が口をそろえて「水門に問題があったのでは」「人災ではないか」など話されていました。正確な調査を急ぐ必要があります。

倉林明子参院議員も参加 府市政議会 報告会



9月14日にダイゴロー会議室で、議会報告会が開かれました。

西野さち子市議は、焼却灰溶融施設の契約解除、水道料金の値上げ、敬老乗車証の改悪について報告しました。「爆発事故が多発し、開発途上の技術で危険なうえ、運転経費が膨大でCO2を多く出すため、最初から議会では日本共産党だけが反対をしてきました。議会の論戦と市民の声が一つになって、京都市を追いつめました。建設費175億円の大型公共工事が完成寸前で中止になるのは前代未聞です」「敬老乗車証の改悪も力を合わせてストップさせましょう」馬場府議はXバンドレーダー等の報告をしました。

倉林明子参議員は「深刻な福島原発の汚染水問題は、国会閉会中でも臨時の委員会を開くべきと委員長等に働きかけて、臨時の委員会を開く事になりました」「まだ議員になって2カ月程度の新米ですが頑張ってます」と議員活動を元気に報告しました。